



毎月廿廿日発行  
定価 一部拾銭  
二部拾銭  
三部拾銭  
行五十字詰  
廣告料 一行五十銭  
發行兼編輯印刷人  
伊藤隆次

所行發  
町濱小縣島福  
社報新産水城磐

小名濱町  
小名濱水産株式會社  
支配人 平野直保

泉小名濱間、小名濱上遠野間  
大平自動車部  
中ノ製作所

電話九番四一番

### 普選第一次ノ市町村會議員改選 ニ望ミテ

全國一齋ニ火蓋ヲ切ラレタハ國家ノ代表タル秋責任ノ  
普選第一次ノ市町村會議員改選甚大ナル事海山ニ劣ラザル  
モ至ル所激戦ニ加フルニ亂ル有ルヲ自覺セザルベカラズ  
戰ヲ續ケラレ幾多ノ代表ガ一方又有權者モオ祭リ氣分  
中原ノ鹿? ヲ追フニ寢食ノ選舉デハ不可ヌ一町村ノ  
ヲ忘レルノ秋夫レガ今ニ開選舉デアルトハ言ヘ國家組  
カレントスル玉手箱。悲喜織ノ一分子デアル町村タル  
勝敗ノ鍵モ全國廣般ノ地區事ヲ念頭ニ置キ少ナクトモ  
ニ亘ツテ正邪ノ那邊ニ彷徨大局ニ着眼シテ市町村各々  
シオル事乎。然リ意義深キ其レヲ背景ニシタル赤心ヲ  
普通選舉第一次ノ改選デア。披歴シナケレバ成ラヌ。然  
レバ天帝ノ大ナル試練デモ。雖モ從來ノ慣しハ人物  
有レバ。省レバ過去幾年間撰擧ヲ忘却シハハ人物  
マデヨリチノノ横暴ハ幾知巴ヨリ進リ權門ヲ進ツテ官  
多ノ專制事故ヲ煩發シ極度動シ投票ノ際スル等無意識  
ニ國民ノ信望ヲ失墜シ大衆ニ然モ或ル?。何物カニ操  
ノ怨差ノ的トナリ議會中心繼サレテ舞ヒテ人形宜  
主義ハ伏摩殿ノ如ク流布喧敷ク夢遊病者ノ狂態ソノ儘  
言サレ居リシヲ先帝ノ所謂選舉場ノ門ヲ入ルナド余リ  
萬機公論ニ決スベシトノ詔ニモ多々ナル時國家町村ノ  
語ニ則リ始メテ布カレシ貧向後ニ憂慮ノ汚点ヲ思ハザ  
富等一主義ハ實現サレテ漁ルヲ得ナシ。  
村ノ一言山間ノ一字サヘモ惟フニ吾々國民ハ政治家ト  
公機ニ訴ヘテ其ノ一國民ノ云フモノヲ一個ノ獨立シタ  
正義ノ叫ビガ議會ヲモ動カテ特殊職業トシテ只成行ヲ放  
シ得ル程ニ平等主義所謂貪婪シテオク事ハ大ナル間違  
富階級ノ識ノ打開トナリシヒデアル。  
秋先決事ハ有權者ノ自覺ト。政治ト云フモノハ國民全體  
自重デナケレバナラヌ。ガ眞險ニ注意セネバナラヌ  
少クトモ政治ノ前ニ生活ノ重大ナル生活ノ原據デア  
リ。吾等ガ選ブ代表者夫ハカラニハ。然リ然ルガ故ニ  
同シ五尺ノ體モテ生活スル市町村會議員モ矢張り國民  
トハ言ヘ有權者全體ノ否大全體ノ一ノ代官者ナノデ有

### 江名町ノ代表タルベキ町議候補者側面觀

及川富士太郎君  
下神白七十三票ノ處ヨリ獨斷場トシテ打テ出タ及川氏  
ハ安全第一デアラウ  
人物モ溫堅デ之又部落ノ爲メ安全ナ候補者デア  
作山庄司君  
永崎部落百四十八票ノ處ヨリ三名ノ候補者江名町第一  
ノ安全地帯選舉ハ水物油斷  
ナクバ當選確實  
人モ農家丈ニ堅實第一主義  
先ツ代表者トシテアツライ  
向キ  
中山茂吉君  
中之作部ノ百五十ノ處ヨリ三名ノ立候補先ツのんんと視  
タキモ折戸ノ六十ヨリ二名  
立候補兩部トシテ通シ二百  
ニ對シ五名ノ候補者事務長  
同志ノ慎重ナル考慮ト按配  
ニ注イセザレバ義性者ヲハ  
出セルヤモ知レズ充分注  
以テ要スルデアラウ  
シテ指導者眞劍ニ得ヒテ計  
算シテ萬遺憾ナキヲ期セ之  
レ候ハシタメニアラス江  
名町タメ  
吉田大次郎君  
江名町ノ新人トシテ自他共  
ニ許ス氏二期得スル大ナモ  
ノアルヲ自ラスルデアロウ  
町議壇上ノ一異彩デアアル  
花形デアロウ  
澤辰之助君  
頭腦明敏致密ナル点第一入  
者デアアル而モ今日迄自重セ  
る忍耐セル氏ノ義性的精神  
ニ至リテハ推賞ノ外ナシ  
走評アル人  
黒川喜一郎君  
江名町ノ一人トシテ人格  
トシテ一番デアロウ  
小松金十郎君  
初メヨリ優シク持續スル  
一二三位ヲ下ルヨウナ事ハ  
シ驗スル人々格手腕共ニ  
加澤一造君  
江名町ノ第一人高點ノ第一  
指ヲ堀スル人々格手腕共ニ  
シ驗スル人  
佐藤巳之藏君  
事務長ニ佐藤徳太郎氏アリ  
屋上屋ノ威あり高點シヤノ  
第一カ  
加瀬盛彌君  
ミノ入トシテ筆ハハニ敬  
イラ表ス下上大澤ヲ統一セ  
シムル氏ノ人々ノ然ラシム  
ル處當せんハ確實氏ノ頭ノ  
好サモ權上ニニニ好ク反  
映スルテ有ロウ

### 開店披露

簡易食堂  
安價と美味と町噺を  
モットーとする……  
小名濱軌道停留所前  
アカーノレン  
へぜひ一度御越し下  
さい

波ノ音  
江名町出張  
鈴木齒科  
木田齒科  
小名濱町  
小名濱町  
緊ちようシテ當らくヲ待ツ